



最優秀賞

安かった まとめて買った 腐らせた

(帯広翔陽中 佐藤阜太さん)

【講評】

節約しているようで、実は無駄遣いに終わってしまったあたりの光景がとても上手に歌われていた。それぞれ「だ」で終わらせており、リズムミカルな所もこの句の特質である。無駄遣いを戒める啓発の一句である。

優秀賞

つぶやいて いいねが増えて 会話減る

(更別中央中 鈴木 匠さん)

【講評】

インターネットコミュニケーションの用語である「いいね」が増えれば増えるほど実際の会話が虚しく、かつ減っていくという今日的な課題を柔軟に作り込んでいる。実際の人間関係に警鐘を鳴らしている点でも優れていると評価できる。

佳作

環境は エゴな心に すぐ負ける

(帯広翔陽中 飯田遥希さん)

いいんですか？ 匿名ならば なにしても

(帯広翔陽中 市川太一さん)

ポイ捨ては 地球と気持ちを 汚してく

(更別中央中 七海大二郎さん)



最優秀賞

商品の良さは言葉じゃ わからない

(帯広農業高等学校 アイロンマンさん)

【講評】

すべての世代、誰が読んでもジンと身に沁みる一句と
なっている。とてもわかりやすく、それでいて啓発的な
意味合いもしっかりと織り込んでいる。日常性に富んだ、
親しみのこもった一句である。

優秀賞

S N S 楽しいはずが S O S

(帯広農業高等学校 中島楓乃さん)

【講評】

言葉の語呂がとても調子よく、若い人にも十分にア
ピールできる作品。冒頭のSNSと末尾のSOSがうま
く組み入れられており、間にある「楽しいはずが」という
言葉がとても生きています。構成として、良く練られた一
句である。

佳作

何故だろう いつの間にか 孫がいる

(帯広農業高等学校 真下丈二さん)

石ころで 開運するなら 川いくわ

(帯広農業高等学校 森山翔太さん)

安くする 私のプライド 安くない

(帯広農業高等学校 佐藤美里さん)